

船橋市立医療センターNews No.16

●発行年月日/平成25年4月1日 ●編集/船橋市立医療センター広報委員会 ●発行責任者/院長 高原 善治
〒273-8588 船橋市金杉1-21-1 ☎047-438-3321(代) <http://www.mmc.funabashi.chiba.jp/>



「大宮公園の花見」(さいたま市) 当院職員撮影



設立30年を迎えて病院機能アップを

船橋市立医療センター院長 高原 善治

例年より寒さが身にしみた冬が移り、麗らかな春の陽射しを感じられる季節となりました。いよいよ平成25年度が始まり、当院が設立されて30年を迎えます。今年度は診療面で、まず今まで単科であった外科を外科・消化器外科・乳腺外科の3科に増やし機能分化させました。また、新たに腫瘍内科を設置しました。これらにより、特にがん診療面での充実が図れると期待しています。一方、医師・看護師不足が問題となっていますが、医師数は5名増員し129名に、常勤看護師数も33名増員し438名となりました。

当院は平成8年7月に災害拠点病院に指定されています。3.11東日本大地震の際に、この使命の重さを再認識し、災害時にも病院が機能できるように対策を講じてきました。昨年度は停電時にも救急を中心とした高度な医療が持続できるように、非常用自家発電装置を更新しました。今年度は断水になった場合でも、水の確保ができるよう整備を行います。このほか食料や医薬品の備蓄、災害を想定した訓練の実施も続けていきます。災害に対して「備えあれば憂いなし」としたいと考えています。また、職員が勤務しやすい職場環境整備として、4月1日に新しい保育所がオープンしました。今後、女性職員に安心して働いてもらえるよう、定員を30名から50名に増やしました。

今年は30周年を迎え、更に病院機能を向上させたいと思っております。

目次

院長あいさつ.....	1	新しい院内保育所が完成！／	
病院事業管理者あいさつ／人事異動紹介.....	2	災害時の医療に必要な電源を確保するために	8
新任者挨拶／退任者挨拶.....	3	母乳・育児支援外来／医療相談Q&A	9
特集 こんにちは 薬剤局です	4～5	第6回 がん市民公開講座／第13回 公開医療講座	10
診療科紹介.....	6	第12回 救急医療／看護師（常勤・パート）募集	11
西安市の3病院と医療交流／研修医のつぶやき.....	7	外来担当医師一覧表.....	12

病院事業管理者あいさつ —25年度を迎えて—

船橋市病院事業管理者 鈴木 一郎

船橋市病院事業管理者として2期目を迎えることになりました。地方公営企業法の全部適用移行と同時に、ロケットスタートを切りこの4年間様々な改革に取り組んできました。最初の3ヵ年の改革プラン、そして今進めている3ヵ年の中期経営計画と、一年一年、職員皆で目標を定め着実に成果をあげてきました。21年度は地域医療支援病院の承認、23年度はDPC病院、7:1看護配置基準の取得、そして24年度はDPCⅡ群病院の指定と、それぞれ決して簡単なことではありません。改めて医療センターの質の高さを感じています。

さて25年度もたくさんの計画があります。まず診療科部門では、腫瘍内科、消化器外科、乳腺外科の3つの診療科を新設します。腫瘍内科は、がん診療連携拠点病院としての必須のものと考えていましたが、この度国際医療研究センターから平野聡先生を招へいすることができようやく実現しました。次に、昨年から養成していた医師事務作業補助者を中心とした外来予約センターを開設します。新たな保育所も完成し、定員を増やし、乳児から就学前まで拡大し、24時間保育、一時保育も行っていきます。病院で働く全ての女性が安心して出産し子どもを育てられる職場環境になればと思います。

東日本大震災を教訓として電気、水の確保を進めて来ましたが、非常用自家発電装置の整備が完了し、4月からは電気の供給が停止しても、主要な病院機能が維持できるようになりました。引き続き今年度は診療に必要な水の確保として地下水を利用できるよう井戸を掘るなど、災害拠点病院として万全を期したいと思います。



10月には電子カルテを導入します。診療情報が医師だけでなく、看護師、薬剤師、その他全ての部門で共有できるようになり、医療安全、患者サービス、そしてチーム医療の促進など大いに役立つと思います。その他、血管撮影装置、生化学分析装置の更新など高額医療機器の購入や解剖室の全面改修などの施設整備もあり、25年度病院事業総予算は172億4,000万円となりました。

今年10月には医療センターが開設して30年を迎えます。創立30周年記念式典・祝賀会を企画して、これを機会に、草創の頃の先達の志を思い、そしてこれからの5年先、10年先の理想の市民病院を見据えて、職員皆で夢を語りあえればと思います。

人事異動紹介

医 局	新 任 者	医 局	新 任 者
心臓血管センター長	高原 善治	診 療 局 技 監	三村 雅也
感 染 制 御 室 長	多部田弘士	外 科 部 長	田中 元
情 報 管 理 室 長	丹羽 淳子	消 化 器 外 科 部 長	夏目 俊之
重度外傷センター長	境田 康二	乳 腺 外 科 部 長	松崎 弘志
救命救急センター部長	角地 祐幸	腫 瘍 内 科 部 長	平野 聡
心臓血管センター部長	稲垣 雅行	耳 鼻 い ン コウ 科 部 長	小林 皇一
心臓血管センター部長	茂木 健司	麻 酔 科 部 長	五十嶺伸二
重度外傷センター部長	高瀬 完		

看 護 局	新 任 者	退 任 者
副 看 護 局 長	伊藤 淳子	橋野 恭子 新沢 邦江
ICU・CCU 師 長	川崎志紀子	
A4 病 棟 師 長	武村 妙子	
B3 病 棟 師 長	藤倉 妙子	
B6 病 棟 師 長	宮嶋 明子	
救 急 外 来 師 長	佐藤すみえ	
医療安全管理室副室長	和田 弘子	

診療科名	採 用 者	退 職 者
消 化 器 内 科	東郷 聖子 明杖 直樹	石神 智行
循 環 器 内 科	内山 貴史	
腫 瘍 内 科	平野 聡	
小 児 科	島崎 俊介 香川 悠 長岡 孝太	小林 雅代 藤田真祐子 升田 真依
外 科	太田 拓実 相川 瑞穂	齋藤 洋茂 水藤 広
整 形 外 科	菅野 真彦	橋本 瑛子 金塚 彩
形 成 外 科	伊藤 謹民	坂本奈津紀
脳 神 經 外 科	鈴木 孝典	鈴木 健也
心 臓 血 管 外 科	小笠原尚志 焼田 康紀	川村 知紀
皮 膚 科	大田 玲奈	中川誠太郎
泌 尿 器 科	武井 亮憲	五島 悠介 黄 和吉
産 婦 人 科	長嶋 武雄 川原 麻美	大淵 紫 大石 康文
耳 鼻 い ン コウ 科	小林 皇一 鈴木 智	大塚雄一郎 福本 一郎
麻 酔 科	五十嶺伸二	

※人事異動に伴い、外来診療体制が変更されています。(詳しくは、12ページをご覧ください。)



新任者あいさつ



重度外傷センター部長 高瀬 完

専門医（認定医・指導医）資格等名称
・日本整形外科学会専門医
・日本整形外科学会リウマチ認定医

このたび重度外傷センター部長を任じられました。救命救急センターと重度外傷センターの違いがよくわからないという方が多いと思いますが、簡潔にいうと救命救急センターは主として急性期の救命救急医療を担当するのに対し、重度外傷センターは外傷に特化した救急医療を行う部門です。あえて分ける必要があるのかといえば、不慮の事故は現在若年者死亡原因のトップであり、頭、胸腹部、骨盤、四肢外傷が主となることから外科系が主体となり、急性期を過ぎた後のリハビリテーションから最終目標である社会復帰までを考慮した専門的な初期治療を行うことが必要だからです。私は整形外科が専門ですが、救命救急センターの先生方のもとで、麻酔科、脳神経外科、胸部、腹部外科、形成外科、整形外科等の医師が協力して適切な外傷治療にあたれるよう、微力ながら努力していきたいと思っています。



救命救急センター部長 角地 祐幸

専門医（認定医・指導医）資格等名称
・日本内科学会認定医
・日本循環器学会専門医
・日本禁煙学会認定指導医

本年より赴任致しました角地祐幸と申します。当院の救命救急センターは24時間体制で突然のケガや病気の受け入れを行うだけでなく、救命処置が必要な救急要請に対するドクターカーシステムに貢献し、市民の健康と安心を守るべく努力して参りました。この度、救命救急センター部長を任せられ、微力ながらその責務を果たすよう努力していく所存です。

当院の救急外来の受診者数は年々増加しており、重症患者さんの治療優先にご理解を頂く一方で、迅速性向上のため院内連携を引き続き進めて参りたいと思います。熱いハートを持った救命救急センタースタッフとともに、引き続き重症患者さんに効率的で安心な医療を提供して参りたいと思いますのでよろしくお願い致します。



耳鼻いんこう科部長 小林 皇一

専門医（認定医・指導医）資格等名称
・日本耳鼻咽喉科学会専門医
・厚生労働省補聴器適合判定医

この度、平成25年4月より耳鼻いんこう科部長として着任しました小林皇一と申します。

今年で43歳、耳鼻科医として18年目を迎えました。現在に至るまで頭頸部腫瘍、鼻内内視鏡手術を中心に研究や診療を行ってきました。

船橋市立医療センターはベッド稼働率が非常に高く、また、救急外来にも力を入れており大変忙しい病院と聞いています。

今後とも頭頸部外科医として手術を中心に診療を行っていくつもりですが、全ての患者さんが手術を必要とする訳ではありません。あらゆるニーズに応えられるようにしたいと思っています。もちろん、救急医療にも積極的に絡んでいく所存です。

今までお世話になった千葉大学耳鼻咽喉頭頸部外科と連携しつつ、船橋市民の方々のため、研鑽と努力を積み重ねて行きたいと思っています。よろしくお願いします。



麻酔科部長 五十嶺伸二

専門医（認定医・指導医）資格等名称
・日本麻酔科学会専門医・指導医

このたび麻酔科部長を拝命しました。平成7年1月に赴任して以来、途中数年大学関連病院を回りましたが、非常勤も含めると十数年船橋市立医療センターに勤めてきました。

麻酔科医の役割は手術中の痛みをとることですが、同時に手術や麻酔による状態の変化、特に呼吸や血圧・脈といった生命に直結する部分の変化を常に監視し、対応することも重要な仕事です。

当院では、大きな手術や具合の悪い状態での手術、それらが絡んだ緊急手術など、難しい麻酔管理が必要となることも多いですが、麻酔中に起きる様々な問題に対応出来るよう、常日頃より関係する各科の先生方と連絡を取り合っており麻酔を行っています。

麻酔科は様々な科の先生方と仕事をすることが多いため、その橋渡しとなり、良い仕事ができればと思っています。



腫瘍内科部長 平野 聡

専門医（認定医・指導医）資格等名称
・日本内科学会認定内科医・総合内科専門医
・日本呼吸器学会専門医・指導医
・日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医・指導医
・日本がん治療認定医機構がん治療認定医
・日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医・指導医

4月より腫瘍内科で診療させていただくことになりました。腫瘍内科とは聞きなれない科名だと感じられる方が多いと思います。近年、がん診療は急速な進歩を遂げています。それに伴い新しい抗がん剤が次々と使用されるようになっていきます。私が医師になった約20年前には肺がんの使用できる抗がん剤の種類は片手でも余る程度でしたが、現在では20種類近くにまで急速に増加しています。しかし抗がん剤であればどれを使っても良いというわけではなく、がんの種類によって期待できる効果も異なりますし、抗がん剤ごとに副作用の出方も大きく異なります。これらの薬剤を各患者さんに適切に用いてがん治療を専門的に行う科が腫瘍内科です。多くの患者さんに船橋市立医療センターに来て良かったなという気持ちになっていただけるよう努力してまいります。

退任者あいさつ



副看護局長 橋野 恭子

平成25年3月末日にて、28年余勤務（看護学校赴任期間を含む）した船橋市立医療センターを定年退職しました。今日まで無事に勤められたのは、多くの皆様からご指導・ご支援を頂いたからこそと

心より感謝しております。私が入職した当時と比べ、今では先駆的な救急医療や専門的高度医療、がん診療や地域連携の機能を拡充した449床の急性期病院になりました。病院機能の拡大に伴い看護が担う役割も大きくなったと実感しています。いつの時でも、看護職が自律して「患者さんの安全を図り苦痛を和らげ、個別のニーズに応じた看護を根拠に基づいて実践できる」ことを大切にし、目標達成を目指し努力してきました。臨床実践は基より、患者さんの安全第一で他職種と協働し、一丸となって取り組んだB棟改修工事（20～21年度）、新オーダリングの導入、看護組織体制の改定、人材育成のプログラムの構築等、様々なことが思い起こされます。これで医療センターにおける看護職人生に一区切りつけることとなりますが、今後も超少子高齢化社会に必要とされる看護の力に、微力ながら貢献できるように努力していきます。医療センターの益々の発展と皆様の御健闘をお祈りいたします。

こんにちは 薬剤局です



病院の薬剤師とは

医師・看護師をはじめ多職種が協力して患者さんの治療に当たることをチーム医療といいます。薬剤師はチームの一員として「薬を使用するすべての場面」に関わっています。私たちは「患者さんの薬が最大限効果的に使用されること」を目標に仕事をしています。



薬剤局の組織

平成24年4月の院内組織改編により名称が薬剤部から薬剤局になりました。船橋市立医療センターは診療局、看護局、事務局、薬剤局の4局制で運営されています。

私たち薬剤局には薬剤師19名、治験専従薬剤師1名、非常勤薬剤師3名が所属しています（平成25年4月現在）。このほか事務パート6名が勤務しています。

薬剤局員の中にはがん治療の専門資格「がん薬物療法認定薬剤師」、栄養管理の専門資格「NST専門療法士」、糖尿病療養の専門資格「糖尿病療養指導士」を有する職員がいます。そのほかに感染制御領域、救急領域等を専門とする職員もいます。



薬剤局の業務について

実際の業務をご紹介します。

病棟業務：各病棟に専属の薬剤師を配置しています。入院された患者さんの持参薬の内容や薬の使用状況、副作用を感じていないか、薬の飲み合わせに不都合がないか、他の病院の薬使用履歴、治療上中止すべきサプリメントや健康食品を使用しているか、これから使う注射薬は適切か等々を調査確認します。さらに患者さんへ薬の説明や、患者さんからの質問や相談にお答えしています。また医師や看護師など病棟スタッフからの質問にも対応しています。病棟業務は現在の病院薬剤師の中心的な仕事になっています。

調剤業務：医師の処方箋に基づいて、年齢や使用量等を確認しながら内服薬・外用薬・注射薬を患者さん個人毎に取り揃えて作ります。入院中には内服薬と同じように注射薬も多く処方されます。当院では患者さんの一日分の注射薬をトレーにセットして毎日病棟へ供給しています。

化学療法業務：当院は「地域がん診療連携拠点病院」であるため、抗がん剤による治療（化学療法）が多く行われています。外来・入院で使用する抗がん剤の点滴注射をすべて薬剤局にある専用の設備内で調製しています。また、抗がん剤は薬の組み合わせ、使用量、使用スケジュール、休薬間隔が厳密に規定されておりそのルール（レジメ）どおりに治療が行われているかチェックします。院内に150種類近くあるレジメの登録管理を薬剤師が行っています。



抗がん剤調製の様子
調製前、調製後に複数の目で確認します



T D M 業務：経口薬や注射薬は血液の中を循環しながら「くすり」として効果をあらわします。TDM（Therapeutic Drug Management；治療的薬物マネジメント）は血液中の薬の濃度が最適となる（副作用が出ない、効果不十分にならない）ように患者さんごとの使用量、間隔を決定する仕事です。

医薬品情報(DI)業務：院内採用している約1300種類の医薬品の情報（DI：Drug Information）を収集・管理し、必要に応じて院内の他職種の職員に情報提供する仕事です。医薬品の安全性・有効性を確保するために副作用情報や新しい適応症情報など常に適正な情報管理に努めています。

薬品管理業務：病院が購入した薬を、使用期限や適正な温度・湿度など医薬品としての品質や安全性確保に留意して在庫管理します。不良在庫や欠品が発生しないよう経済的な在庫管理も行います。また「災害拠点病院」として大規模災害を想定した在庫管理を行っています。

治 験 業 務：治験にご協力いただく患者さんが適正に治療を受けられるようにサポートします。治験薬の管理は厳密に行う必要があるため専従の薬剤師が勤務しています。

医 療 チ ー ム：院内にあるさまざまな専門チームに参加しています。栄養サポートチーム（NST）、感染制御チーム（ICT）、がんサポートチーム、褥瘡ケアチーム、糖尿病教室などがあります。



特色のある業務

中 毒 分 析：農薬服用や大量の薬服用など、中毒症状を起こして救命救急センターに搬送された患者さんの原因物質を分析する仕事です。原因を特定できれば適切な治療が速やかに開始できます。

災害派遣医療チーム：当院には災害時に派遣される医療チーム（DMAT；ディーマット）があります。医師3名・看護師2名・業務調整員3名（薬剤師1名・検査技師1名・事務職1名）で構成され平成20年から活動しています。

学生実習の受け入れ：未来の薬剤師を目指す学生の実習受け入れ病院となっています。11週間の実務実習を行っています。

経 営 改 善：病院組織の一部門として経営改善・業務改善に取り組んでいます。薬剤局の業務改善の取り組みについて、平成23年度は奨励賞、平成24年度は院内の最優秀賞をいただきました。



これからは

高度化・複雑化する医療の中で、当院の患者さんが薬について「迷子」にならないことを心がけながら医療人としてのスキルアップに努めます。また、患者さんが病院にいらっしゃる間だけでなく、ご自宅でも適切に薬物療法が継続できるように、地域の薬局と連携するなど、さらに業務の拡充に努めます。どうぞよろしくお願いいたします。

＊ ＊ 詳しい業務内容については当院ホームページをご覧ください。 ＊ ＊

診療科紹介

4月から外科が3科（外科・消化器外科・乳腺外科）に分けられました。

外科

当院では外科系の診療科として脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、整形外科、形成外科など、すでに「外科」から独立して各専門医が診療する体制をとっております。これらの診療科が独立した後に「外科」が担当する領域は主として消化器外科、乳腺外科、それに加えていわゆる一般外科です。最近は消化器、乳腺も高度に専門化してきており、これに対応すべく「消化器外科」「乳腺外科」を新設することになりました。患者さんの数が多い消化器がん、乳がんを中心に、より専門的な診療を行います。しかしながら腹部外傷をはじめ、ヘルニア等の腹壁疾患、そのほか上記の専門領域に収まらない外科疾患の担当窓口も必要です。そこで「外科」「消化器外科」「乳腺外科」を標榜することになりました。外科、消化器外科、乳腺外科はそれぞれ学会認定専門医が在籍し、その診療の中核となりますが、従来の「外科」のスタッフが皆で協力して診療にあたります。新しい3つの外科を統括しますので、どうぞよろしくお願いいたします。

外科部長 田中 元

専門医（認定医・指導医）資格等名称

- ・日本外科学会専門医
- ・日本消化器内視鏡学会専門医・指導医
- ・日本消化器外科学会認定医



消化器外科

消化器外科は主に消化管（食道、胃、大腸）と実質臓器（肝臓、胆道、脾臓）のがんの治療を行います。年間に約300人程度のがん患者さんが当院で手術を受けられています。術前には最新鋭のCT等を使用した術前シミュレーションを行っており、合併症の軽減に努めています。また、腹腔鏡手術を積極的に取り入れ、患者さんの負担がより少ない治療を行っています。進行したがんに対しては抗がん剤・放射線治療などを手術前や後に組み合わせた集学的治療を行い、多方面からがんを治療しています。他診療科という連携し当院の特徴を出していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

消化器外科部長 夏目 俊之

専門医（認定医・指導医）資格等名称

- ・日本外科学会専門医・指導医
- ・消化器外科学会専門医・指導医
- ・消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
- ・癌治療学会がん治療認定医



乳腺外科

乳腺外科は乳がんを中心とした乳腺疾患全般の診療を担当します。現在の乳がん治療は、乳房温存療法（部分切除＋放射線）とセンチネルリンパ節生検など、病気の状態に応じたオーダーメイド治療となっており、根治性と整容性のバランスのとれた手術を行うことを心がけています。薬物療法はまさに日進月歩で、新規抗がん剤や分子標的薬（がんのみを攻撃し副作用が少ない）といった最新の治療法を積極的に導入しています。乳がんはきちんと診断し適切な治療を行えば決して治りにくいがんではありませんが、長い闘病生活になることが多い病気です。できるだけわかりやすい言葉で説明し、常に最善の治療に全力を尽くし、患者さんに優しく接する外科医でありたい、と考えて日々努力しております。

乳腺外科部長 松崎 弘志

専門医（認定医・指導医）資格等名称

- ・日本外科学会専門医
- ・日本乳癌学会乳腺専門医
- ・日本消化器外科学会消化器外科専門医
- ・日本がん治療認定医機構がん治療認定医
- ・検診マンモグラフィ読影認定医



西安市の3病院と医療交流

船橋市の友好都市である西安市からのお招きを受け、船橋市の医療及びリハビリ部門の訪問団（代表：高原善治（船橋市立医療センター院長）、伊藤敬一 船橋市健康部長ほか3名）が平成25年1月29日（火）から2月1日（金）までの間、西安市中心医院、西安市第一医院、西安市紅十字医院の3病院を訪問しました。三級甲等総合病院である3病院では、院長をはじめとする医療スタッフから温かい歓迎を受け、お互いの病院の特徴などが話し合われました。



中心医院との意見交換

※ 三級甲等総合病院とは、中国では、病院がいくつかのレベルに分類されており、一番レベルが高いのが三級甲等、次に三級乙、三級丙、二級甲…と続きます。三級甲等病院は、市衛生局や国衛生部直轄で、一定の医療環境基準を満たす病院。CT、MRI、高圧酸素室などの高額な設備投資がなされています。二級は、市の下の区レベルの病院。一級は、街や居住区レベルの病院となっており、その他に民間病院もあります。



	西安市中心医院	西安市第一医院	西安市紅十字医院
設 立	1952年(昭和27年)／診療科数41科	1941年(昭和16年)／診療科数25科	1911年(明治44年)／診療科数30科
病床数	1,000床	700床	854床（整形外科654床、その他150床）
職員数	約2,000人 (医師数400人、看護職員700人)	約1,240人 (医師数426人)	約1,500人 (医師数400人、看護職員700人)
特 徴	陝西省 西安市の指定救急医療ネットワーク病院 国際緊急救援センターネットワーク病院	附属病院として西安市眼科医院、西安市心血管病医院、附属第一人民医院を持つ。	中国三大整形外科センターの一つ。 西安市最初の公立病院

研修医のつぶやき



初期研修医二年 山中 希有子

昨年の4月から始まった研修医生活もあっという間に一年が過ぎました。

病院の生活に大分慣れてきた一方で、まだまだ勉強不足だと思う瞬間の連続です。

今回は麻酔科でのお話です。



指導医の先生のもとで勉強中

麻酔科では手術する当日はもちろんのこと、手術日までに患者さんにお話を色々聞いたり、事前に行った検査結果を集めて麻酔科全体で話し合い、手術に備えます。



全体の話し合いの様子

また研修医で毎年恒例となっている研修医旅行に行きました。今年は高速フェリーに乗り大島まで行きました。



4月からは新一年生が入職し私達も先輩という立場になるので頑張っていこうと思います。

これまでの研修医生活の話などをして、親睦を深めました

新しい院内保育所が完成！ ～24時間体制で医療スタッフをサポート～

病院で働く意欲のある職員が、出産・育児によって仕事を諦めることがないよう、そして仕事と家庭のバランスがとれる職場環境づくりの一環として、このたび清潔で広々とした保育空間のある院内保育所が平成25年4月1日にオープンしました。

これは慢性的に不足している女性医師・女性看護師の確保や、女性職員が働きやすい環境づくりを目的として設置したものです。

当院においては、今般の保育所開設を契機に、女性医師等の医療スタッフの確保を図ることで、医療の質および患者サービスを向上させていきたいと考えています。

新院内保育所の概要

- ・敷地面積 990.02㎡
- ・建築面積 鉄骨造り平屋 458.57㎡
- ・定員 50名
- ・対象 小学校就学前の乳幼児
- ・保育内容 基本時間 6:30～21:30
24時間保育（週3日程度）
一時保育



災害時の医療に必要な電源を確保するために ～3日間運転可能な非常用自家発電装置を整備～

当院では、東日本大震災の教訓を活かし、非常用自家発電機を更新し、災害時の医療体制の強化を図りました。

平成25年3月に更新した非常用自家発電装置は大幅に能力を強化し、X線撮影やCT撮影などの大きな電力を必要とする機器にも対応したほか、連続して運転できるように、3日分の燃料を備蓄できるようになりました。

以前の発電機は出力が弱く、手術室や人工呼吸器など、生命に直結する箇所には電気を供給できませんでしたが、X線撮影やCT撮影などを行うことができませんでした。また、備蓄できる燃料も6時間分だけでした。

25年度は、災害時の診療に必要な水を確保するため、非常用井戸等を整備します。当院は今後も災害時に災害拠点病院としての機能が十分に発揮できるよう、整備を進めていきます。



※この「医療センター News」のバックナンバーは当院ホームページでご覧いただけます。

赤ちゃんとお母さんに
優しいケアを取り入れました！

母乳・育児支援外来



当院では産後の育児をされているお母さんをサポートするため、母乳・育児支援外来を行います。

当院の母乳・育児支援外来は、他院でご出産された方も対象です。お気軽にご連絡下さい。

外来時間：月～木曜日 13時～16時30分
金曜日 13時～14時
1回約30分

内 容：母乳・育児相談
乳房マッサージ
ベビービクス
(ベビービクスをご希望の方につきましては、日時をご相談させていただきます。)

予 約：お電話にて予約を受け付けています。
047(438)3321 (船橋市立医療センター代表)
「産婦人科病棟」または「母乳・育児支援外来予約」
とお伝え下さい。

※料金等詳細はお電話でお問い合わせ下さい。

楽しく育児をして
いきましょうね！



近日、助産外来もオープンします！

医療 相談



高額な医療費がかかったときの 救済制度はあるの？

1ヶ月間(月初め～月末)に医療機関窓口で支払った医療費が一定額を超えた場合、超えた分は各健康保険(市町村、全国健康保険協会、健康保険組合)から返金される制度があります。

70歳未満の患者さんは、保険証とともに「限度額適用認定証」を医療機関窓口に出示することにより、窓口の支払いが自己負担限度額までに抑えることができます。なお、限度額適用認定証については、事前に各健康保険に申請し、交付されることが必要です。

70歳以上の患者さんは、保険証を医療機関窓口に出示することにより、医療費の支払いが自己負担限度額までとなります。

高額療養費の自己負担限度額(70歳未満の人の場合)

所得区分	自己負担限度額 ※3
上位所得者(A) ※1	150,000円 + (医療費の総額 - 500,000円) × 1%
一般(B)	80,100円 + (医療費の総額 - 267,000円) × 1%
市民税非課税世帯(C) ※2	35,400円

※1 上位所得者とは、社保の場合、標準報酬月額が53万円以上の世帯となります。

※2 市民税非課税世帯の方は、食事療養費が減額されますので、標準負担額減額認定証の交付手続も行ってください。

※3 高額療養費の自己負担額の計算要件は、毎月ごと、同じ医療機関でも外来と入院は別々で計算します。



地域医療連携室 E館1階

電話：047-438-3321 (代)

受付時間：午前9時～午後4時

(土日・祝日・年末年始を除く)

当院は省エネに取り組んでおります。ご協力お願いいたします。

第6回 がん市民公開講座

「がんの予防」を開催しました



3月3日（日）、FACE市民文化創造館（きららホール）で第6回がん市民講座を開催しました。今回は「がんの予防」をテーマとして、当院の医師5名が「タバコと発がん」、「肝細胞がんの予防」、「胃がんとピロリ菌」、「子宮頸がんの予防」、「がんになりにくい食事」、について講演しました。がんの原因やハイリスク集団が明らかになり、予防法が開発されているがんに対しては、その予防対策が効果的に実施されれば、がんの発生率と死亡率は確実に下がります。また、これまでの研究から、がんの原因の多くはたばこや食事、飲酒などの日常の生活習慣にかかわるものとわかっており、生活習慣を見直すことの重要性も示されました。



日本人の2人に1人は生涯で一度はがんになると言われている今日、がん予防に対する市民の皆さんの関心は高く、20才代から80才代まで110名の方々が聴講されました。演者の先生方の熱の入った講演で少し予定時間をオーバーしましたが、聴講された方々からの質問も多く、閉会後も皆さん個別に質問されており、演者の先生も丁寧にお答えしていました。来年も3月に公開講座を開催する予定ですので、是非ご参加下さい。

「胃がん・大腸がんを学ぶ」を開催しました

第13回 公開医療講座



生活習慣とがんの関係について説明する小林先生

1月16日（水）に市民文化創造館（きららホール）において、当院の小林照宗消化器内科副部長を演者に第13回公開医療講座「胃がん・大腸がんを学ぶ～早く見つけて、早く治療～」を開催しました。

がんの中でも胃がんと大腸がんの割合は多く、予防と検診が重要になります。

胃がんの危険性を高くするものとして喫煙とヘリコバクター・ピロリ菌、食塩の摂取が挙げられ、危険性を低くするものとしては果物・野菜の摂取が挙げられます。大腸がんの危険性を高くするものとしては喫煙、肥満、肉、アルコール飲料が挙げられ、危険性を低くするものとしては運動、果物・野菜・牛乳・カルシウムの摂取が挙げられます。

早期発見のためには、検診を受けることが勧められます。船橋市では、胃がん検診と大腸がん検診として、胃部X線検査と便潜血検査を行っています。要精密検査となった場合は、内視鏡検査（胃カメラ、大腸カメラ）が勧められます。胃がんや大腸がんに対する治療は、薬物療法（抗がん剤）と手術療法に分けられます。このうち手術療法は、開腹手術、腹腔鏡手術、内視鏡手術に分けられますが、ごく初期の場合には、身体への負担が少ない内視鏡による治療も可能です。

胃がんや大腸がんになる危険性を少しでも減らすような生活習慣が大切です。身体への負担が少ない方法で治療を行うためには、早期発見が重要です。早期発見のために検診を受け、その後の精密検査まで気を抜かずに行いましょう。

消化器内科副部長 小林 照宗

患者さんの案内や図書の整理などの病院ボランティアを募集しています。詳しくは、医事課まで

第12回

救急医療

救急医療における呼吸器内科

呼吸器内科部長 中村 祐之

救急医療における呼吸器内科領域の重要な疾患として、気管支喘息や気胸などがあります。いずれの疾患も、急に発作が起きたり、突然発症したりします。場合によっては命にも関わる疾患です。

気管支喘息は、季節の変わり目や台風など天候の変化、風邪を引いた場合などにも発作が引き起こされます。夜間や明け方に発作が多いのも特徴です。既に医療機関で気管支喘息と診断され、発作時用の気管支拡張剤（吸入薬）を、所定回数使用しても発作が治まらないときには、躊躇せずに医療機関を受診して下さい。

気胸は、肺の表面に穴があいて空気漏れを起こ

し、肺がしぼんでしまう疾患です。程度にもよりますが、しぼんだ肺では、十分に呼吸ができずに、呼吸困難に陥ることがあります。一般的には若くやせ形の男性に多い疾患とされています（この場合は「自然気胸」と言います）。しかし、喫煙が原因で肺気腫になっている年配の方でも、気胸を発症することがあります（この場合には「続発性気胸」と言います）。突然の胸痛に引き続き、咳や呼吸困難が出現した場合には、この病気を疑い（もちろん心疾患も考えられますが）医療機関を受診して下さい。気胸は、通常のレントゲン写真で判明する場合があります。

喫煙は百害あって一利無しです。また、喫煙は喘息患者さんの突然死にもつながる危険因子です。

生活習慣の改善は、慢性疾患の予防のみならず、呼吸器系急性疾患の発症低下に役立ちます。



看護師(常勤・パート)募集

平成25年度募集概要



救急医療、がん医療、地域医療に発展的にがんばっている病院です。

一緒に働きませんか。

常勤は59歳、パートは64歳まで応募可能です。

- 資格／看護師・助産師免許をお持ちの方又は、26年3月までに取得見込みの方
 - 募集／看護師・助産師(正規・パート)
 - 休日／4週8休制
(パート職員の場合は、勤務日数・時間の相談に応じます。)
- ※詳細は当院ホームページ (<http://www.mmc.funabashi.chiba.jp/index.html>) をご覧いただくか、総務課庶務班までお問い合わせください。
- ※看護職を対象とした病院説明会を開催しています。当院ホームページをご覧ください。

今後の試験実施予定

試験日	受験申込期間
6月22日(土)	5月16日～ 6月12日
7月20日(土)	6月13日～ 7月10日
8月18日(日)	7月11日～ 8月 8日
9月14日(土)	8月 9日～ 9月 4日
10月26日(土)	9月 5日～10月16日
11月16日(土)	10月17日～11月 6日
12月14日(土)	11月7日～12月 4日
26年 1月18日(土)	12月5日～26年1月 8日
26年 3月 8日(土)	26年 1月9日～ 2月26日

外 来 担 当 医 師 一 覧 表

平成25年4月1日現在

		月	火	水	木	金	備考
内科	新 患	明杖 直樹 〔交替医〕	前川 祐子	下山 立志	関根有希子	〔交替医〕	消化器の(火)の水本、(火)の安藤、(木)の関、(金)の小林は予約患者のみ
	呼 吸 器	中村祐之・山岸一貴	徳田敦子・中村純	多部田弘士・山岸一貴	中村祐之・中村純	多部田弘士・徳田敦子	
	消 化 器	水本 英明	水本 英明 関 厚佳 高城いぶき	安藤 健 東郷 聖子	水本 英明 関 厚佳	小林 照宗 安藤 健 今関 洋	腫瘍は、肺がん、縦隔腫瘍、原発不明がんが対象
	代 謝	岩岡 秀明	下山 立志	鶴岡 明	下山 立志	岩岡 秀明	
	腫 瘍	平野 聡					
心臓血管センター	循環器内科 予約	杉岡 充爾 稲垣 雅行	福澤 茂・黒岩信行 沖野 晋一	前川 潤平 稲垣雅行・内山真史	杉岡 充爾 市川壮一郎	福澤 茂 池田 篤史	心臓血管外科の手術の相談は、循環器内科でも応じます
	循環器内科 新患	前川 祐子	池田 篤史	内山真史・黒岩信行	沖野 晋一	市川壮一郎・前川潤平	
		〔手術日〕	高原善治・茂木健司	〔手術日〕		〔手術日〕	午後1時30分から ※第1・3・5 高原 ※第2・4 茂木
緩和ケア内科				〔交替医〕	〔交替医〕		午前9:00～ 予約患者のみ
精 神 科		宇田川雅彦	宇田川雅彦	宇田川雅彦	宇田川雅彦		新患は事前予約が必要
小 児 科		木谷 豊 島崎 俊介	佐藤 純一 〔交替医〕	丹羽 淳子 奥主健太郎	木谷 豊 香川悠・長岡孝太	伊賀 裕子 坂井 美穂	
外科	消化器・一般	丸山 尚嗣 宮崎 彰成	渡辺 義二 夏目 俊之 佐藤やよい	丸山 尚嗣 山本 悠司	田中 元 太田 拓実	宮崎 彰成	(月)松崎 午前のみ (火)丸山 午前のみ (水)吉原 午後のみ
	乳 腺	松崎 弘志		松崎 弘志 吉原ちさと		唐司 則之 松崎 弘志	
	新 患	〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	
整 形 外 科		〔交替医〕 大田 光俊 〔手術日〕	池之上純男 高瀬 完 〔交替医〕	三村 雅也 鮫田 寛明 新保 純	〔交替医〕 橋本 瑛子 〔手術日〕	〔交替医〕 榎本 隆宏 〔手術日〕	予約のない患者は (月)・(木)・(金)
形 成 外 科		〔手術日〕	薬丸 洋秋	薬丸 洋秋	〔手術日〕	伊藤 謹民	
脳 神 経 外 科		唐澤 秀治 鈴木 孝典	唐澤 秀治 〔手術日〕	畑山 和己 根本 文夫 唐澤 秀治	唐澤 秀治 安間 芳秀 〔手術日〕	内藤 博道 唐澤 秀治	
呼 吸 器 外 科		内田 修 一ノ瀬修二	〔手術日〕	内田 修 一ノ瀬修二	木下 孔明 〔交替医〕	〔手術日〕	(木)は内田・一ノ瀬が交替
皮 膚 科		大田 玲奈	大田 玲奈 宮川 健彦	〔手術日〕	大田 玲奈 宮川 健彦	〔交替医〕	予約患者のみ (金)は第1・3宮川、第2・4・5大田
泌 尿 器 科		武田 英男 〔手術日〕	佐藤 信夫 黄 和吉	〔交替医〕 〔手術日〕	佐藤 信夫 武井 亮憲	佐藤 信夫 滝澤 一晴	
産 婦 人 科		鈴木 康伸 斉藤 俊雄	森 麻子 〔交替医〕 〔手術日〕	斉藤 俊雄 佐川 泰一 〔手術日〕	鈴木 康伸 林 敏	林 敏 川原 麻美 〔手術日〕	
眼 科		上原 七生 谷口 有子	松枝 美文 〔手術日〕	松枝 美文 〔手術日〕	上原淳太郎 上原 七生	上原淳太郎 谷口 有子	予約のない患者は (月)・(火)・(金)
耳鼻いんこう科		〔手術日〕	小林 皇一 鈴木 智	小林 皇一 鈴木 智	〔交替医〕 派遣医師 〔手術日〕	小林 皇一 鈴木 智	休診 (月)
放 射 線 科		東ヶ崎厳太郎		隈部 篤寛	酒井 光弘		新患は事前予約が必要
麻 酔 科		境田 康二	境田 康二	境田 康二	境田 康二	境田 康二	午前9:30～11:00 予約患者のみ
歯 科 口 腔 外 科		村野 彰行	村野 彰行	村野 彰行	村野 彰行	村野 彰行	
特 殊 外 来	女性専用 (内科)			古池 織恵			予約患者のみ
	腎臓内科 (内科)		〔交替医〕				午後1:30～ 予約患者のみ
	神経内科 (内科)			澤井 摂			午後1:00～ 予約患者のみ
	ステントグラフト外来 (心外)		桜井 学				午後1:30～
	ペースメーカー外来			〔交替医〕			午後1:00～
	小児循環器 (小児)	佐藤純一・〔交替医〕 奥主健太郎	村社 歩美	佐藤 純一			午後 予約患者のみ (火)は第2・4
	小児神経 (小児)				林北見・牧野道子		午後 予約患者のみ 月1回
	小児腎臓 (小児)				秋岡 祐子		午後 予約患者のみ 月2回
	小児外科 (外科)				中田 光政		
	脳神経内科 (脳神経外科)			横田隆徳 (3ヶ月に1回)		橋本 祐二	午前9:30～ 予約患者のみ
	バリエーション (脳神経外科)		唐澤 秀治		唐澤 秀治		
	膀胱外来 (泌尿器科)				北村 温		第3木曜日の午後

担当医師は、状況により変更することがありますので、ご了承ください。